

「古典の調べ 現代のきらめき」

先人の叡智が詰まった古典の深い味わいと、現代曲の挑戦的な心躍る斬新さ…
まったく異なるアプローチながらも、その根底に流れる日本人の心は変わることがありません。
幅広い音楽を学ぶ藝大生ならではの演奏をお楽しみ下さいませ。

▼能楽《独鼓》「加茂」

播州室の明神の神職は加茂神社に参詣し、水汲みの女から社の縁起を聞きます。女は神となって現れることを告げて姿を消してしまいます。やがて御祖神と別雷の神が現れ、五穀成就、国土守護の神徳を示す猛々しい舞を披露します。独鼓とは、謡一人、鼓(今回は太鼓)一人で常の手配りのまま一曲の一部を演奏することです。今回は別雷の神が登場し、五穀成就、国土守護を祝い、虚空へ帰る最後の場面を演奏します。

▼創作曲「旅」

旅は、数多の出会いを生みます。この「旅」で、篠笛、尺八、箏、十七弦はどのような道を辿ったように聞こえるでしょうか。ばらばらに静かな出発をして、止まる事なく次へ次へと、次第に協調して共に歩みを進めて行きます。四つの楽器にはそれぞれの旅がありますが、運命を共にする仲間なのです。四つの楽器が織りなす旅、どのようなストーリーがあったのか、想像して頂けたら嬉しいです。

▼尺八三重奏曲「鼎」

尺八—仏教—中国—シルクロードと尺八の歴史をたどって考えてゆうちに、殷の銅器—鼎が思い浮かびました。「鼎」は元来煮たき用具だったのでしょう。なべ型の胴体に中空の足が三本ついています。煮えたぎる有様は丁度シルクロードの歴史の様です。それぞれの長さの違った尺八を三本使いました。この三本の全音だけで白鍵の七音を出すことができ、黒鍵にあたる半音には不思議な翳があります。明暗、表裏のぶつけ合いで書きました。(作曲者)

▼生田流箏曲「糸のためのコンチェルト」

この作品は、沢井忠夫合奏団の委嘱により1983年に初演されました。合奏曲としては珍しいダブルコンチェルト形式をとっており、さらに箏が7パート、十七絃が3パートで構成されています。

▼日本舞踊・山田流箏曲「ひとりあそび ～「三つの断章」によせて～」

一人遊びに興じるあどけない少女が女性としての自分に目覚める瞬間—。昔も今も変わらない、日常の中に埋もれてしまう一瞬を切り取って、現代的な躍動感と超絶技巧の冴え渡る「三つの断章(中能島欣一作)」にのせて展開します。

▼長唄・邦楽囃子「安宅の松」

明和六年(一七六九年)、富士田吉治作曲。
義経に従って陸奥国へ落ちて行く武蔵坊弁慶は、加賀国安宅岡の手前まで来て名木安宅の松の下で落葉を掻いている里の童に出会います。都名物の扇を与えて奥州平泉へ向かう近道を教えてもらうという踊りの曲です。古風でしっとりとした独特の味を持ち、上調子が特に活躍します。

▼山田流箏曲「花の寺」

紀州道成寺を題材に平成20年に作られた曲。
風を表現した前弾き(前奏)に始まり、様々な桜を詠み込んだ軽快なリズムの前半は、桜吹雪が風に舞う情景を表現しています。後半のわらべ唄では道成寺の仁王像、三重塔、観音像、安珍清姫の事などを手まり唄風に唄い、最後は「鐘に恨みは数々ござる」と全体的に道成寺の雰囲気を感じさせた作品です。

生涯学習センターまでの案内図



台東区生涯学習センター

〒111-8621 東京都台東区西浅草 3-25-16
電話：03(5246)5827

- 交通 ◇ JR 山手線・京浜東北線
「鶯谷駅」南口 徒歩 約 15 分
◇ 地下鉄日比谷線
「入谷駅」1 番出口 徒歩 約 8 分
◇ つくばエクスプレス
「浅草駅」A2 出口 徒歩 約 6 分
◇ 台東区循環バス「めぐりん」
「生涯学習センター南」
「生涯学習センター北」共に 徒歩 約 3 分

雷門通り
せば處

産 張 屋

本店
TEL (3845) 4500

表店
TEL (3841) 8780
<http://r.gnavi.co.jp/g615000/>



この国の佳き伝統とともに
宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売
www.miyamoto-unosuke.co.jp